

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	文化芸術のグローバル展開の推進			担当部局庁	文化庁	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和9年度	担当課室	文化経済・国際課	板倉 寛	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化芸術基本法第2条10項、15項			関係する計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2022(骨太方針2022)(令和4年6月7日閣議決定)、新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画(令和4年6月7日閣議決定)、知的財産推進計画2022(令和4年6月3日閣議決定)、文化芸術推進基本計画(第2期)(令和5年3月24日閣議決定)		
政策	12 文化芸術の振興			主要経費	その他の事項経費		
施策	12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的(5行程度以内)	本事業は、R4年3月の文化審議会文化経済部会報告書『文化芸術の創造的循環』において示された「土壌作り」(第1の循環)と「価値づけ」(第2の循環)の2つの循環のうち、「価値づけ」の考え方を体系立てて、一つのパッケージとして事業化したもので、日本の文化芸術がグローバルな文脈で正当に価値づけられるとともに、文化芸術への再投資が行われる環境を整えることを目指している。具体的には、日本の文化芸術の担い手がグローバルに活躍する機会を提供し、国内の一流アーティスト等がグローバルトップを狙うための支援や日本の文化芸術の世界への発信を支援する事業や支援とともに、日本が文化芸術の国際発信拠点として成長していくことを目的に事業等を展開する。						
現状・課題(5行程度以内)	・環境(グローバルな活躍を促すための支援環境)、人材(文化芸術のプロデュース、発信、流通のコーディネーター、多言語人材)、及び専門人材(キュレーター等)のネットワークが充実していない。						
事業概要(5行程度以内)	①将来的に国際舞台での活躍が期待される傑出した人材の発掘とグローバル展開を行う「トップアーティストのグローバル展開支援事業」 ②我が国の活字文化を海外へ発信・普及させるため、出版社等による作品の海外展開を支援するとともに、翻訳家の発掘・育成を行う「活字文化のグローバル発信・普及事業」 ③国内事業者の海外アートフェア等参加・出展を支援するとともに、国際的な誘客を可能にする国内企画展、国際連携による海外企画展等を支援する「我が国アートのグローバル展開推進事業」(補助率:原則50%)(民間企業等) ④国際的なアートフェアの誘致や、国際的なイベントにおけるアートの国際発信等を行う「世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進」(補助率:定額)(地方自治体等)						
事業概要URL	https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/						
実施方法	委託・請負、補助						
補助率等	-						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	315	312	374	1,132	1,463
		執行額(G)	325	325	323		
		執行率(%) =(G)/(F)	103%	104%	86%		
		当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	103%	104%	86%		
		歳出予算項・目	令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
		(項)	文化振興費		R5に既存事業を再編し、新規事業を加えてパッケージ化したため。		
(目)	文化振興委託費	874	1,293	重要政策推進枠 592百万円			
(目)	文化振興補助金	241	151				
(目)	職員旅費	10	10				
(目)	芸能賞金	3	5				
(目)	諸謝金	2	2				
(目)	その他	2	2				
計(A)		1,132	1,463				

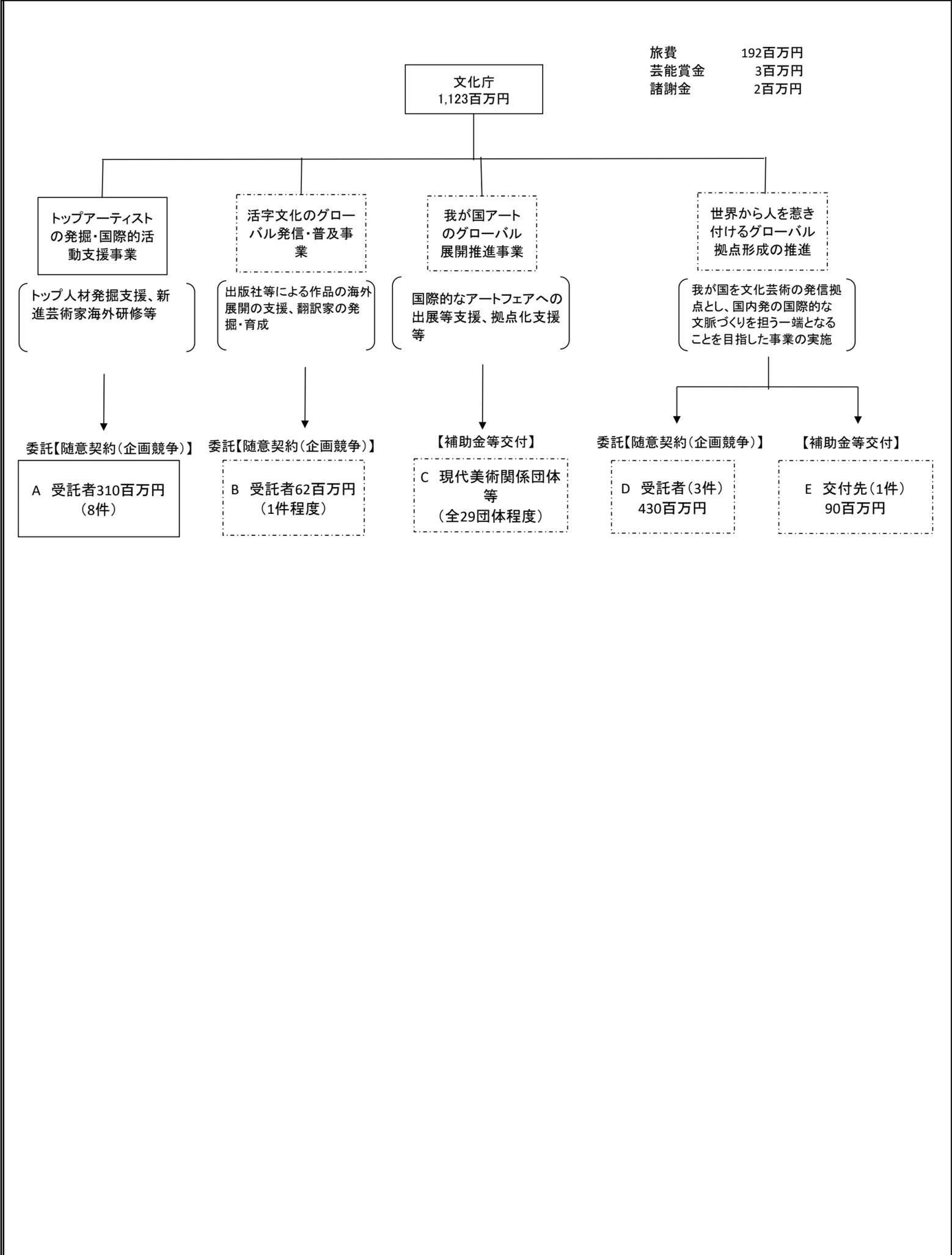
活動内容① (アクティビティ)	文化芸術の担い手に対し、グローバル展開推進のための支援等を実施する。									
↓										
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	新進芸術家海外研修制度の実施	新進芸術家海外研修制度支援実績数／新進芸術家海外研修制度採用者数	活動実績	人	69	35	26	-	-	
当初見込み			人	69	35	27	35	-		
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	採用後、海外で実践的な研修をするには、受入側との調整等が必要であり、採用されたからといって必ずしも全員が海外での活動ができるとはかぎらない。そのため、効果発現の初期段階として、まずは、新進芸術家海外研修制度による海外での研修を支援の実施回数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5年度		
	新進芸術家海外研修制度の実施	新進芸術家海外研修制度支援実施回数／新進芸術家海外研修制度実施目標回数	成果実績	実施回数	69	35	26	-		
			目標値	実施回数	69	35	27	35		
達成度			%	100	100	96.3	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	新進芸術家海外研修制度各年度採択一覧： https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/shinshin/kenshu/index.html									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	新進芸術家海外研修制度による研修実施によって、国内外で活躍する著名な元研修員が文化芸術立国としての国際プレゼンス向上や国際的な評価向上に貢献することで、日本の誇りとして「文化・芸術」を挙げる国民の割合が増加すると考えられるため、長期アウトカムを設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度		
	国民の誇りとして「文化・芸術」が挙げられている割合を維持すること。□ □ □	国民の誇りとして「文化・芸術」が挙げられている割合	成果実績	%	47.6	48.9	45.7	-		
			目標値	%	49.6	47.6	48.9			
達成度			%	96	102.7	93.5	-			
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	内閣府「社会意識に関する世論調査」									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容② (アクティビティ)	○活字文化のグローバル発信・普及 ・企画書等の翻訳・作成支援 ・翻訳家の発掘・育成 ・翻訳家のリスト作成・共有 ・プロモーション活動									
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	外国語の企画書・サンプル訳の作成支援	支援件数	活動実績	件	-	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	120	120	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 外国語の企画書やサンプル訳の作成支援により海外出版社にはたらきかけを行うことにより、日本の活字作品が海外で出版される。									
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6年度		
	日本の活字作品の海外出版社による出版(ライセンスアウト)	支援件数に占める割合 (支援した作品で海外出版された数/支援作品数)	成果実績	%	-	-	-	-		
			目標値	%	-	-	-	14		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	事業実施時に文化庁により調査を行う									
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 日本の活字作品の海外発信・普及により、文化芸術の国際発信強化とグローバル展開が推進され、文化芸術と経済の好循環が構築される。									
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度		
	インバウンド拡大を含む経済と文化の好循環が起こり、日本から文化芸術が継続的に国際的に発信できる環境の整備が進む。	世界のアート市場における我が国のシェアの順位	成果実績	位	-	-	8	-		
			目標値	位	-	-	-	5		
			達成度	%	-	-	-	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	アート・バーゼルとUBSが作成する「THE ART MARKET」に基づく									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									

活動内容③ (アクティビティ)	○我が国アートのグローバル展開 ・海外アートフェア等参加・出展等支援 ・国際的に発信力のある国内企画展等支援 ・国際拠点化事業の推進支援 ・国際連携による海外企画展等支援								
↓									
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	我が国のアートがグローバル展開に資する事業への支援	補助件数	活動実績	件	10	11	38	-	-
			当初見込み	件	30	30	30	29	-
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	我が国アートのグローバル展開に資する事業への支援を通じて、国際的なアートフェアへ出展する事業者が増加することにつながる。							
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度
	我が国アートの国際的な露出・評価の増加	国際的なアートフェアにおける日本のギャラリーの出展数の増加(アートバーゼルに出展した日本からのギャラリー数/全出展者数)	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	5	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	アートバーゼルウェブサイト(https://www.artbasel.com/basel)								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	国際的なアートフェアへの日本のアート/アーティストの出展が増加することにより、日本出身のアーティストの国際的な評価が高まる。							
成果目標及び成果実績 ③-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度
	我が国アートの国際的な評価の向上	ARTFACTSアーティストトップ100においてランクインする日本出身アーティスト数	成果実績	人	3	4	4	-	
			目標値	人	3	3	3	5	
			達成度	%	100	133.3	133.3	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	ARTFACTSアーティストトップ100(https://artfacts.net/lists/global_top_100_artists)								
↓	成果目標③-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	日本のアート/アーティストの評価向上により、日本がアートの国際的な発信拠点として成長することにつながる。							
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度
	日本が文化芸術の発信拠点として、国際的な地域を築く。	国際的なアートカレンダーに掲載のイベントを日本国内で開催することにより、国際的な富裕層の来日喚起につながる。	成果実績	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文化庁調べ。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
	日本が国際的なアートの拠点として一定の評価を得ることを目指しているが、定量化は困難であるため、「アートカレンダー」という定量化できない評価指標を設けざるを得ない。								
	アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容④ (アクティビティ)	○世界から人を惹きつけるグローバル拠点形成の推進 ・国際的なアートフェアの誘致に向けた我が国アートシーンの発信 ・国際的なイベントにおけるアートの国際発信事業 ・日本文化のグローバル展開に資する「新たな価値」の発信								
↓									
活動目標及び活動実績④ (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	我が国における国際的なアートフェアの実施	国際的なアートフェア実施件数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	1	-
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	国際的なアートフェアを国内で開催することにより、日本のアートを国際的に発信する機会の向上につながる。							
成果目標及び成果実績④-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度	
	我が国におけるアートの国際発信の促進	支援事業が海外メディアに取り上げられた件数	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	3	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	独自調査								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	海外で日本のアートシーンが取り上げられることが増加することにより、日本出身のアーティストの国際的な評価が高まる。							
成果目標及び成果実績④-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 9年度	
	我が国アートの国際的な評価の向上	ARTFACTSアーティストトップ100においてランクインする日本出身アーティスト数	成果実績	人	3	4	4	-	
			目標値	人	3	3	3	5	
			達成度	%	100	133.3	133.3	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	ARTFACTSアーティストトップ100 (https://artfacts.net/lists/global_top_100_artists)								
↓	成果目標④-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	日本のアート/アーティストの評価向上により、日本がアートの国際的な発信拠点として成長することにつながる。							
成果目標及び成果実績④-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9年度	
	日本が文化芸術の発信拠点として、国際的な地域を築く。	-	成果実績	件	-	-	-	-	
			目標値	件	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	国際的なアートカレンダーに載るイベントを日本国内で開催することにより、国際的な富裕層の来日喚起につながる。								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
	日本が国際的なアートの拠点として一定の評価を得ることを目指しているが、定量化は困難であるため、「アートカレンダー」という定量化できない評価指標を設けざるを得ない。								
	アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	芸術家外国研修旅費	169			
人件費	推進スタッフ2名、推進管理者1名	8			
雑役務費	ホームページ作成・運営、危機管理サポート、危険情報配信、アンケートシステム利用料、資料保管	4			
借損料	審査会場費(音響、映像設備含む)	2			
諸謝金	審査謝金	2			
一般管理費	旅費を除いた額の10%	2			
印刷製本費	審査資料	1			
計		188	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社JTBコミュニケーションデザイン	2010701023536	令和4年度「新進芸術家海外研修制度」運営業務	188	一般競争契約 (最低価格)	1	100%	-
2	PwCコンサルティング合同会社	1010401023102	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	55	一般競争契約 (総合評価)	2	99%	-
3	日本文化芸術グローバル発信連絡会	-	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	40	随意契約(企画競争)	1	100%	-
4	株式会社KSR	9010701012689	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	7	随意契約(企画競争)	3	100%	-
5	Project Asteri, Inc.	-	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	7	随意契約(企画競争)	3	100%	-
6	ユミコチバアソシエイツ有限会社	5011102016184	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	6	随意契約(企画競争)	3	100%	-
7	日本文化芸術グローバル発信連絡会	-	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	5	随意契約(企画競争)	2	100%	-
8	近畿日本ツーリスト株式会社	2010001187437	トップレベルのアーティスト等のグローバル展開事業	2	随意契約(企画競争)	1	100%	-
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	